

事務事業名 農道保全対策事業(飯石・斐伊地区農道負担金)		所属部 産業振興部	所属課 農林土木課	
総合計画体系	政策名 (V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G 農林道G	課長名 渡部克彦	
	施策名 (36)農業の振興	担当者名 小田川博志	電話番号 0854-40-1053 (内線) 2402	
	目的: 対象 市内の農家 意図 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 6 項 目 中事業 中事業 0 5 6 5 3 7	県営農道整備事業	
	基本事業名 (108)農業基盤の保全 目的: 対象 担い手農家・担い手以外農家 意図 農業の生産性を維持・向上できるようにする。		農道保全対策事業負担金	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

<input type="checkbox"/> 事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 23 年度～ 34 年度 )	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述) 事業主体は島根県 ①飯石・斐伊地区(山方大橋点検診断、路面及び法面診断) ②飯石中央地区(橋梁点検、耐震施行)負担率 飯石・斐伊地区:13～25% 飯石中央地区:25%	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	27年度実績(27年度に行った主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会	28年度計画(28年度に計画する主な活動) 負担金支出書類の作成及び測試箇所の確認・立会				
② 活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
ア	負担金	千円	16,325	22,385	27,500	37,500
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	農業従事者	ア 受益面積	ha	1,583	1,583	1,583	1,583
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	農道点検及び機能診断を行うことにより、農作物や資材・耕作機械の運搬作業などの労力が軽減され、農業の生産性が向上する。	ア 橋梁点検	橋	8	0	0	0
		イ 橋梁設計	橋	9	0	0	0
		ウ 橋梁耐震化	橋	0	2	1	1

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
事業負担金の支出 飯石・斐伊地区負担金 27,500千円		財源内訳	国庫支出金	千円				
			県支出金	千円	16,300	22,385	27,500	37,500
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	25	0	0	0
			事業費計(A)	千円	16,325	22,385	27,500	37,500
		人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	
			延べ業務時間	時間	240	240	240	
			人件費計(B)	千円	934	933	939	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	17,259	23,318	28,439	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
農村漁村交付金事業について、全体的に予算の増額がないため、予定通りの事業実施年度となるか不明。	特になし	地元からは早期の完成を望む声が多い。

事務事業名	農道保全対策事業(飯石・斐伊地区農道負担金)	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	全路線が良好な路面で、また法面保護などが十分であれば、災害対策また事故防止につながり、農作物の運搬などが更に向上する。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	災害、事故防止には人命にもかかわるため必要不可欠な事業である。また、補助事業でなければ単独費となる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	県営事業であり、市の負担が低いため有利である。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		修繕にしても、オーバーレイなど安価な工法はあるが、耐用年数が短く再度修繕が必要になるため、十分に調査し、舗装基準に適した工法を精査する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由		県営事業のため、もともと業務時間は少ないので削減余地は無い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	理由		農道の現地調査を行った上で、県営事業により実施されているため、公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		通行者の安全性、農作物等の運搬作業軽減のため、継続的事业の実施が必要とされている。県営事業であるため、農道整備が完了するまで継続的に整備要望が必要である。
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																		